



# 牧の野に



## 行動は思考のリハーサル

生徒指導主事 河野 佑介

一日学校で過ごしているといろいろなことが起こります。朝の健康観察から始まり、下校の挨拶をするまで、一人一人の子供が様々なことを経験する中で「困ったこと」も起こります。その困ったことも「勉強難しいなあ」「今日の給食、苦手だな」「あ、忘れ物しちゃった」など、様々ですが、最近多いのは人間関係についての「困ったこと」です。

以前、バス通学の学校で「バスの中で嫌なことを言われた」という相談がありました。話を聞いてみると、座席に座ろうとしたときに「そこ、どいてよ」と強く言われたとのこと。今にも泣きそうな顔で話すその女の子を安心させるために、相手の女の子を呼んで話を聞くと、「だって、いつまで待っても立ったままで座ってくれないんだもん」と、語気は強く、顔を真っ赤にして話します。その後、話を聞き、お互いに謝ることができ、その日の放課後も仲よくバスに乗って帰ることができました。どこにでも起こりそうな話ですね。

ここで考えたいのは、呼ばれた女の子はなぜ顔を真っ赤にして怒っていたのかということです。子供たちは友達とトラブルになったとき、「誰が悪かったのか」、そして「自分は悪くないのに」という視点で物事を考え始めます。当然、両者が主張するので、なかなか子供同士で解決することが難しくなります。そこで、私たち大人ができることは、子供の成長を考えて話を聞くことです。では、その「成長」とはどのようなことでしょうか。



まず「相手の話を聞く力」です。相手があることですから、自分の思いと相手の思いを比べる必要があります。自分の事実とは違った内容が出てきても口を挟まないことを約束し、最後まで聞くことができれば、そこで必ず褒めます。この褒める（価値付ける）ことが大切です。

次に「解決のために自分にできることを考える力」です。お互いの困ったことを交互に話すことで、子供たちは少しずつ落ち着き、言いたいことを言い終えると、「自分も悪かったところがあるかも…」と考え始めます。ここで、「じゃあ、今からは解決に向けて話をしていくよ」と声をかけ、相手を安心させるためにお互いができることを一緒に考えます。子供たちから出てくる解決策は「悪かったことを謝る」です。そして、それが、相手の困ったことと合致していれば、すかさず褒めます。困っていたことを認め、解決してくれようとしている姿を称賛することで、「謝ることで相手を安心させてあげられる」ということを学習していくことができます。

昔は遊びの中で大人を介さずに身に付けていた力かもしれません。しかし、3年間のコロナ禍も影響して、人との関わりについての経験値が少なくなっている子供たち。行動を支援し、価値付け、次への思考へつなげていくことが子供たちの成長につながっていくと思います。行動は思考のリハーサル。たくさんの経験をして、思考する力を高め、正しい行動ができる大人になってほしいと思います。



学校保健委員会での学校医さん

# まっすぐに きれいに のびる 牧野っ子

**金銭教育の授業**  
(6年、11/14)→  
お金についての授業で、お金は大切だけど、扱いによって人生を大きく左右すると分かりました。



**持久走大会**  
(11/15)→  
4年ぶりの持久走大会、体育の授業や休み時間にも練習し、つらさに打ち克つ強い心と体をつくります。



**←校外学習**  
(2年、11/22)  
秋晴れの中、太閤山ランドで思い切り遊びました。こどもみらい館では「パズルでピクチャ」を作ったよ。



**←学校保健委員会**  
(11/30)  
保健隊の発表をもとに、仲よく学校生活を送るにはどうすればよいか考え、校医さんの話も聞きました。

**牧野地区ブロックPTA研修会(12/2)→**  
マジシャンのコンプレッサーさんから、楽しいマジックと大好きなことを仕事にという言葉をもらいました。



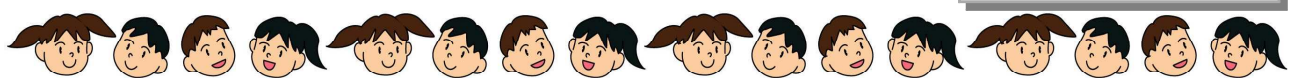
**歌声タイム(12/5)**  
11月の歌「心の中にきらめいて」を教頭先生の指導で歌いました。きれいに歌った後の心の中は、やはり清々しいものです。



**←避難訓練(12/6)**  
休み時間に大きな地震が起きたらという設定で訓練しました。みんなの命を守るための行動ができました。



**←書き初め練習**  
3学期の書き初め大会へ向けて練習を行いました。低学年はクレパスで、中・高学年はだるま筆で書きます。



## 《牧野っ子の声》 ～本物に触れる～



コロナ禍では、なかなかできなかった学校でのコンサートや劇団公演を行いました。3～6年生が「クリスタント」さんによる素敵な声楽アンサンブル、1～3年生が「劇団あとむ」さんによる楽しい音楽劇を、体育館で実際に生で鑑賞しました。本物に触れる体験は画面や録音と違って実感が湧き出てきます。牧野っ子にはこのような体験を通して、みずみずしい感性を磨いていってほしいと思います。



11/17学校コンサート

- ・さいしょに歌を聴いたとき、男の人や女の人が高い声を出していて、とても美しい声だなと思いました。ジブリの「となりのトトロ」の時、ちょっと歌いたくなりました。
- ・私がすごいと思ったのは、ずっと笑顔がくずれていなかったことです。11月の歌「心の中にきらめいて」を高い声でがんばっていますが、その歌を聴かせてくれて、すてきで感動して泣きそうになりました。

- ・アニメイムという遊びを使ってげきをしていて、ボールや新聞紙を使って動物をつくったり、フラループを回してその中をくぐるのがすごかったです。
- ・わたしが一番ここにのこったことやかんじたことは、一人じゃ何もつくれな、たくさんの方の力で大きな力になるんだなと思いました。



11/21劇団公演